

玉 野 総 合 医 療 専 門 学 校

学

則

玉野総合医療専門学校学則

第 1 章 総則

(目的)

第 1 条 本校は、教育基本法（平成18年法律第120号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）に従い、高度の専門的知識と技能及び幅広い教養を兼備した優秀な保健師、看護師、理学療法士及び作業療法士を養成することを目的とする。

(名称及び位置)

第 2 条 本校は、玉野総合医療専門学校（以下「学校」という）という。

2 学校の位置は、岡山県玉野市築港 1 丁目 1 番20号とする。

第 2 章 課程、学科及び修業年限、定員並びに休業日

(課程、学科、修業年限、定員)

第 3 条 学校の課程、学科及び修業年限並びに定員等は、次のとおりとする。

課 程 名	学 科 名	修業年限	入学定員	総定員	学級数
医療専門課程	保健看護学科	4 年	40名	160 名	4
	理学療法学科	4 年	40名	160 名	4
	作業療法学科	4 年	40名	160 名	4

- 2 医療専門課程保健看護学科は、保健師助産師看護師法（昭和23年法律第203号）第19条第 2 号及び第21条第 3 号の規定による保健師養成所及び看護師養成所であり統合カリキュラムによる 4 年課程とする。
- 3 医療専門課程理学療法学科及び作業療法学科は、理学療法士及び作業療法士法（昭和40年法律第137号）第11条第 1 号及び同法第12条第 1 号の規定による理学療法士養成施設及び作業療法士養成施設 4 年課程とする。

(在学期間)

第 4 条 在学期間は、疾病その他の事由によりこれを延長することはできるが、修業年限の 2 倍を超えることはできない。

(学年、学期)

第5条 学校の学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

2 学年を次の2学期に分ける。

前期 4月 1日から 9月30日まで

後期 10月 1日から 3月31日まで

(休業日)

第6条 学校の休業日は、次のとおりとする。

(1)土曜日及び日曜日

(2)国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する日

(3)創立者の日（4月30日）

(4)学園創立記念日（5月4日）

(5)春期休業日（4月1日から4月4日まで）

(6)夏期休業日（7月25日から8月31日まで）

(7)冬期休業日（12月24日から1月7日まで）

(8)学年末休業日（3月21日から3月31日まで）

2 前項の規定にかかわらず、校長は、特に必要があると認める場合は、臨時に休業日を設け、又は休業日を変更することができる。

第3章 教育課程、授業時数及び単位認定

(教育課程、授業時数)

第7条 学校の教育課程及び授業時数及び単位数は、別表Ⅰ・Ⅱ・Ⅲのとおりとする。

2 卒業までに履修させる授業時数及び単位数は、別表Ⅰ・Ⅱ・Ⅲに定める授業時数及び単位数とし、保健看護学科にあつては3,585時間135単位以上、理学療法学科にあつては3,400時間118単位以上、作業療法学科にあつては3,400時間116単位以上とする。

(成績評価及び単位認定)

第8条 授業科目の成績評価及び単位認定は、所定の授業時数を出席し、各学期末の試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案し、合格したとき当該学科目を履修したものと認定する。

2 成績評価は100点をもって満点とし、60点以上を合格とする。これを公表する場合は、秀・優・良・可・不可の標語を用い、不可を不合格とする。

3 合格点に達しない授業科目につき、再試験を行うことができる。

4 試験に欠席した学生で、その理由が正当であると認められたものには、追試験を行うことができる。

5 各授業科目の欠席時間数が別表に定める授業時間数の3分の1を超えるものについては、当該授業科目の単位の認定及び履修の認定はしない。

6 既修得単位の認定については、別に定める。

7 履修に関する詳細は別に定める。

第4章 入学

(入学時期)

第9条 学校の入学時期は、学年の始めとする。

(入学資格)

第10条 本校に入学することのできるものは、次の各号の一に該当するものとする。

- (1)高等学校又は中等教育学校を卒業したもの
- (2)通常の課程による12年の学校教育を修了したもの（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了したものを含む。）
- (3)外国において、学校教育における12年の課程を修了したもの又はこれに準ずるもので文部科学大臣の指定したもの
- (4)文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了したもの
- (5)専修学校の高等課程（修業年限が三年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了したもの
- (6)文部科学大臣の指定したもの
- (7)高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格したもの（旧規程による大学入学資格検定（以下「旧検定」という。）に合格したものを含む。）
- (8)学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学したものであって、本校における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (9)本校において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業したものに準ずる学力を有すると認めたもので、18歳に達したもの

(出願手続)

第11条 学校に入学を志望するものは、入学願書に必要事項を記載して、第25条に定める入学検定料及び別に指定する必要書類を添えて願出しなければならない。

2 入学願書の受付期間は、別に定める。

(入学試験)

第12条 前条の手続を終了したものに対して、入学試験を行う。

(入学許可)

第13条 前条の入学試験に合格したものは、校長が入学を許可する。

(入学手続)

第14条 学校に入学を許可されたものは、指定の期日までに所定の入学手続を完了しなければならない。

2 前項の手続を怠るときは、入学の許可を取り消すことがある。

第5章 休学、転学及び退学

(休学)

第15条 学生が疾病その他の事由により引き続き3か月以上就学困難な場合は、医師の診断書又は詳細な事由書を添えて、保証人連署をもって校長に願い出て許可を受け休学することができる。

2 疾病その他の事由により就学することが適当でないと認められる学生に対して、校長は、期間を定めて休学を命ずることがある。

3 休学期間は、通算して2年を超えることができない。

4 休学期間は、在学期間に算入しない。

5 休学期間であっても事由が消滅し、復学しようとするときは、復学願を提出して校長の許可を受け復学することができる。

(転学及び転入学)

第16条 学生が他の学校へ転学を希望するときは、校長に願い出て許可を受けなければならない。

2 学校へ転入学を希望するものについては、欠員のある場合に限り、かつ、前の学校の教育進展状況が同程度又はそれ以上である場合に限り、校長は、選考の上これを許可することができる。

(自主退学)

第17条 学生が疾病その他の事由により、自主退学しようとするときは、医師の診断書又は詳細な事由書を添えて、保証人連署の上で校長に願い出て許可を得なければならない。

第6章 卒業

第18条 第8条に定める授業科目の成績評価に基づいて、校長は、課程修了の認定を行う。

2 所定の修業年限以上在学し、課程を修了したと認めたものには、卒業証書を授与する。

3 欠席日数が出席すべき日数の3分の1を超えるものについては、原則として卒業を認めない。

(称号の授与)

第19条 前条により、4年課程の専門課程を修了したものは、高度専門士と称することができる。

第7章 褒賞、懲戒及び除籍

(褒賞)

第20条 学生が成績優秀にして他の模範となるものについて、校長は、これを褒賞することができる。

(懲戒)

第21条 学生が学校の規則に違反し、学校内の秩序を乱し、その他学生の本分に反する行為をしたとき

は、校長は、これを懲戒することができる。なお、懲戒に関する規程は、別に定める。

2 懲戒の種類は、次のとおりとする。

(1)訓告

(2)停学

(3)退学

3 停学が引続き3か月以上にわたるときは、その期間は、修業年限に算入しない。

4 学生が次の各号のいずれかに該当するときは、校長は、これを退学に処することができる。

(1)性行不良で改善の見込がないと認められるもの

(2)正当な理由もなく出席が常でなく成業の見込のないもの

(3)学校内の秩序を乱し、著しく学生の本分に反したもの

(4)学力劣等で成業の見込みがないと認められるもの

(除籍)

第22条 学生が次の各号のいずれかに該当するときは、校長は、これを除籍することができる。

(1)留年又は卒業延期となったもので必要な履修手続を行わないもの

(2)3か月以上無断欠席が続き、その所在が不明のもの

(3)第4条の在学期間在籍してなお卒業が認められないもの

(4)正当な事由なく、授業料その他の納付金の義務を怠り、再三催促を受けてもなお納入しないもの

第8章 教職員

第23条 学校の教職員は、次のとおりとする。

- | | |
|--------------|--------------|
| (1)校長 | 1名 |
| (2)副校長 | 1名以上 |
| (3)事務長 | 1名 |
| (4)学科長 | 各学科1名 |
| (5)教務主任 | 各学科1名 |
| (6)学生指導主任 | 各学科1名 |
| (7)実習調整者 | 各学科1名以上 |
| (8)実習指導教員 | 1名以上（保健看護学科） |
| (9)専任教員 | 26名以上 |
| (9-1)保健看護学科 | 14名以上 |
| (9-2)理学療法学科 | 6名以上 |
| (9-3)作業療法学科 | 6名以上 |
| (10)講師 | 若干名 |
| (11)事務職員 | 4名以上 |
| (12)校務員 | 1名 |
| (13)学校医 | 1名 |
| (14)その他必要な職員 | |

第9章 会議

第24条 学校に次の会議を置く。

- (1)学校運営会議
- (2)職員会議
- (3)講師連絡会議
- (4)実習指導者会議
- (5)教務主任会議
- (6)学生指導主任会議
- (7)広報委員会
- (8)自己評価委員会
- (9)倫理委員会
- (10)その他校長が必要と認めた会議

2 会議に関する必要な規程は、別に定める。

第10章 入学金及び授業料等

(入学金、授業料等)

第25条 学校の納付金は、別表Ⅳのとおりとする。

2 前項の納付金は、別に定める規程により納入しなければならない。

第26条 休学者の納付金の取り扱いは別に定める。

第27条 退学、転学及び停学者は、その学期の納付金は、全額納入しなければならない。

第28条 授業料その他の納付金を6か月以上滞納したものは、除籍することができる。

第29条 在学中授業料その他の納付金に変更があるときは、新たに定められた金額をその学期から納入しなければならない。

第30条 既納の納付金は、一切返還しないものとする。

第11章 健康診断

第31条 学校保健安全法（昭和33年法律第56号）第13条の規定に基づき健康診断を毎年1回定期的に行う。

2 健康診断に関する規程は、別に定める。

第12章 雑則

第32条 この学則の施行について必要な細則は、校長が別に定める。

(改廃)

第33条 玉野総合医療専門学校学則の改正は、学校運営会議及び職員会議の審議を経て、理事会で決定する。

附 則

この学則は、平成10年4月1日から施行する。ただし、第19条の専門士の称号授与に関する規程の施行は、文部大臣の告示後とする。

附 則

この学則は、平成11年4月1日から施行する。ただし、第19条の専門士の称号授与に関する規程の施行は、文部大臣の告示後とする。

附 則

この学則は、平成12年4月1日から施行する。ただし、第19条の専門士の称号授与に関する規程の施行は、文部大臣の告示後とする。

附 則

この学則は、平成13年4月1日から施行する。ただし、第19条の専門士の称号授与に関する規程の施行は、文部大臣の告示後とする。

附 則

この学則は、平成14年4月1日から施行する。ただし、第19条の専門士の称号授与に関する規程の施行は、文部大臣の告示後とする。

附 則

この学則は、平成17年4月1日から施行する。ただし、第19条の専門士の称号授与に関する規程の施行は、文部科学大臣の告示後とする。

附 則

この学則は、平成18年4月1日から施行する。ただし、第19条の専門士の称号授与に関する規程の施行は、文部科学大臣の告示後とする。

附 則

この学則は、平成21年4月1日から施行する。なお、平成21年度入学生から適用する。

附 則

この学則は、平成24年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第7条、第23条については従前の規定による。

附 則

この学則は、平成26年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第7条については従前の規定による。

附 則

この学則は、平成27年4月1日から施行する。なお、平成27年度入学生から適用する。

附 則

この学則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（令和元年9月24日 第7回理事会）

この学則は、令和2年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第7条については、従前の規定による。

附 則（令和2年2月25日 第13回理事会）

この学則は、令和3年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第3条については、従前の規定による。

附 則（令和3年9月21日 第6回理事会）

この学則は、令和4年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第3条、第7条については、従前の規定による。

附 則（令和4年7月26日 第5回理事会）

附 則（令和5年2月21日 第11回理事会）

この学則は、令和5年4月1日から施行する。

附 則（令和5年12月22日 第9回理事会）

この学則は、令和6年4月1日から施行する。

附 則（令和6年4月23日 第1回理事会）

この学則は、令和7年4月1日から施行する。

授業科目			単位数			年間授業時数									
						1年		2年		3年		4年		合計	
			講義	実習	計	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基礎分野	科学的思考の基盤	哲学と倫理	1		1	20								20	
		法学	1		1	20								20	
		情報科学Ⅰ(情報リテラシー)	1		1	20								20	
		情報科学Ⅱ(情報活用技術)	1		1						20			20	
		看護に必要な物理学	1		1	15								15	
		教育原理	1		1		15							15	
		教育学方法論	1		1				30					30	
		論理的思考	1		1	20								20	
	人間と生活・社会の理解	人間理解の心理学	1		1	20								20	
		人間関係論－基礎	1		1		20							20	
		人間関係論－実践	1		1				20					20	
		英語	1		1	30								30	
		健康スポーツ科学	1		1	30								30	
		音楽	1		1		15							15	
		基礎分野 小計			14	0	14	175	50	0	50	0	20	0	0
専門基礎分野	疾病の成り立ちと回復の促進	人体機能学入門	1		1	15								15	
		生化学	1		1	15								15	
		基礎病理学	1		1	20								20	
		人体の構造と機能・疾病論Ⅰ(呼吸器)	1		1		20							20	
		人体の構造と機能・疾病論Ⅱ(循環器・血液・造血器)	1		1		30							30	
		人体の構造と機能・疾病論Ⅲ(消化器)	1		1		20							20	
		人体の構造と機能・疾病論Ⅳ(脳・神経)	1		1		20							20	
		人体の構造と機能・疾病論Ⅴ(運動器)	1		1		20							20	
		人体の構造と機能・疾病論Ⅵ(内分泌・代謝)	1		1			20						20	
		人体の構造と機能・疾病論Ⅶ(腎・泌尿器・女性生殖器)	1		1			20						20	
		人体の構造と機能・疾病論Ⅷ(アレルギー・膠原病・感染症・癌・口腔)	1		1				30					30	
		人体の構造と機能・疾病論Ⅸ(眼・耳鼻咽喉・皮膚)	1		1				20					20	
		臨床検査	1		1		15							15	
		臨床治療論	1		1		20							20	
		生物・微生物学	1		1	20								20	
		薬理学	1		1		15							15	
		臨床薬理学	1		1			20						20	
		代謝栄養学	1		1		15							15	
		臨床栄養学	1		1			20						20	
	社会健康支援と保障制度	公衆衛生学	1		1	30								30	
		環境保健	1		1							15		15	
		社会保障論Ⅰ(概論)	1		1			30						30	
		社会保障論Ⅱ(社会福祉)	1		1				30					30	
		社会保障論Ⅲ(社会資源の活用演習)	1		1					20				20	
		保健医療福祉行政論Ⅰ(医療・保健)	1		1					20				20	
		保健医療福祉行政論Ⅱ(福祉)	1		1						30			30	
		保健医療福祉行政論Ⅲ(保健医療福祉計画の理解)	1		1							30		30	
	保健医療福祉行政論Ⅳ(実習地の施策化演習)	1		1								15	15		
	の健康統計学と現象	疫学Ⅰ(疫学調査方法)	1		1					20				20	
		疫学Ⅱ(分析方法)	1		1						20			20	
		保健統計・情報処理Ⅰ(統計学の基礎知識)	1		1			30						30	
		保健統計・情報処理Ⅱ(保健統計の見方)	1		1				30					30	
	専門基礎分野 小計			32	0	32	100	175	140	110	60	50	45	15	695
専門分野	基礎看護学	看護学概論	1		1	30								30	
		共通看護技術論Ⅰ(安全・安楽・対象把握)	1		1	15								15	
		共通看護技術論Ⅱ(ヘルスアセスメント)	2		2	45								45	
		共通看護技術論Ⅲ(看護過程の展開技術)	1		1		30							30	
		日常生活援助技術論Ⅰ(環境・活動)	1		1	30								30	
		日常生活援助技術論Ⅱ(睡眠・食事・排泄・清潔)	2		2		60							60	
		回復促進援助技術論Ⅰ(呼吸・循環)	1		1		30							30	
		回復促進援助技術論Ⅱ(注射法)	1		1			30						30	
		回復促進援助技術論Ⅲ(臨床看護総論)	1		1			30						30	
	地域看護・在宅看護論	暮らしを支える看護	1		1	30								30	
		在宅生活を支える看護	1		1					30				30	
		在宅療養を支える看護	1		1						30			30	
		地域・在宅看護論総合	1		1								15	15	
	小計			15	0	15	150	120	60	0	30	30	0	15	405

授業科目			単位数			年間授業時数									
						1年		2年		3年		4年		合計	
			講義	実習	計	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門分野	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論Ⅰ(基礎)	1		1			20						20	
		公衆衛生看護学概論Ⅱ(展開)	1		1				20					20	
		公衆衛生看護支援Ⅰ(保健指導)	1		1				20					20	
		公衆衛生看護支援Ⅱ－①(個人・家族:新生児)	1		1					15				15	
		公衆衛生看護支援Ⅱ－②(個人・家族:高齢者)	1		1						15			15	
		公衆衛生看護支援Ⅲ(集団・地域)	1		1						20			20	
		公衆衛生看護支援Ⅳ－①(地域診断演習:築港地区)	1		1					20				20	
		公衆衛生看護支援Ⅳ－②(地域診断演習:実習地)	1		1							20		20	
		公衆衛生看護支援Ⅴ(健康教育演習)	1		1							30		30	
		公衆衛生看護活動Ⅰ(母子・成人・歯科)	1		1						30			30	
		公衆衛生看護活動Ⅱ(高齢者・精神・障害者・難病)	1		1							30		30	
		公衆衛生看護活動Ⅲ(感染症・危機管理)	1		1							20		20	
		公衆衛生看護活動Ⅳ(学校保健)	2		2							45		45	
		公衆衛生看護活動Ⅴ(産業保健)	1		1							30		30	
		公衆衛生看護管理論	1		1								15	15	
	成人看護学	成人看護学概論	1		1		20							20	
		成人看護学Ⅰ(急性期にある対象の看護)	1		1			30						30	
		成人看護学Ⅱ(回復期にある対象の看護)	1		1			30						30	
		成人看護学Ⅲ(慢性期にある対象の看護)	1		1				30					30	
		成人看護学Ⅳ(終末期にある対象の看護)	1		1				30					30	
		成人看護学総合	1		1								30	30	
	老年看護学	老年看護学概論	1		1		15							15	
		老年看護学-疾病論	1		1			15						15	
		老年看護学-療養支援	1		1			30						30	
		老年看護学-生活支援	1		1						15			15	
		老年看護学総合	1		1								15	15	
	小児看護学	小児看護学概論	1		1			20						20	
		小児看護学-疾病論	1		1			20						20	
		小児看護学-実践	1		1				30					30	
		小児看護学総合	1		1								20	20	
	母性看護学	母性看護学概論	1		1			20						20	
		母性看護学-健康論	1		1			30						30	
		母性看護学-実践	1		1				20					20	
		母性看護学総合	1		1								20	20	
	精神看護学	精神看護学概論	1		1		20							20	
		精神看護学-疾病論	1		1			20						20	
		精神看護学-実践	1		1				30					30	
		精神看護学総合	1		1								20	20	
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ(臨床看護の実践)	1		1				30					30	
		看護の統合と実践Ⅱ(看護マネジメントの実践)	1		1								30	30	
		看護と研究Ⅰ(看護研究とは)	1		1						15			15	
		看護と研究Ⅱ(看護研究発表)	1		1							15		15	
		看護と医療安全	1		1						15			15	
		看護管理	1		1								15	15	
		国際看護・災害看護	1		1								20	20	
	小計			46	0	46	0	55	235	210	65	95	210	150	1020
	専門分野 小計			61	0	61	150	175	295	210	95	125	210	165	1425
臨地実習		基礎看護学実習Ⅰ(日常生活援助)		1	1		45							45	
		基礎看護学実習Ⅱ(看護過程の展開)		2	2				90					90	
		地域看護実習		1	1	30								30	
		地域・在宅看護論実習		3	3							90		90	
		公衆衛生看護学実習Ⅰ(行政)		3	3								135	135	
		公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校)		2	2								90	90	
		成人・老年看護学実習Ⅰ(急性期)		2	2					45	45			90	
		成人・老年看護学実習Ⅱ(回復期)		2	2					45	45			90	
		成人・老年看護学実習Ⅲ(慢性期)		2	2					45	45			90	
		老年看護学実習(生活支援)		2	2					45	45			90	
		小児看護学実習		2	2					45	45			90	
		母性看護学実習		2	2					30	30			60	
		精神看護学実習		2	2					45	45			90	
		看護統合実習		2	2							90		90	
実習 小計			0	28	28	30	45	0	90	300	300	180	225	1170	
合 計			107	28	135	455	445	435	460	455	495	435	405	3585	
						900		895		950		840		3585	
						講義	実習	講義	実習	講義	実習	講義	実習	－	
						825	75	805	90	350	600	435	405	3585	
						単位数		単位数		単位数		単位数		－	
						40		34		31		30		135	

区分		授業科目	単位数				年間授業時数								合計		
			講義	演習	実習	計	1年		2年		3年		4年				
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
基礎分野	科学的思考の基盤	倫理学	1			1	15									15	
		教育原理	1			1	15									15	
		心理学	1			1	30									30	
		情報科学	1			1	30									30	
		文章表現法	1			1	30									30	
	人間と生活	英語	1			1	15									15	
		医学英語	1			1		30								30	
		生物学	1			1	15									15	
		スポーツ科学	1			1	15									15	
		公衆衛生学	1			1		30								30	
	社会の理解	社会福祉学	1			1	30									30	
		コミュニケーション論	1			1	30									30	
		コミュニケーション演習		1		1		15								15	
		人と地域の交流	1			1				15						15	
	計		13	1	0	14	225	75	0	15	0	0	0	0	0	315	
	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅰ	1			1	30									30	
		解剖学Ⅱ	1			1	30									30	
		解剖学Ⅲ	1			1		30								30	
		解剖学演習Ⅰ		1		1	30									30	
		解剖学演習Ⅱ		1		1		30								30	
表面解剖学演習			1		1			30							30		
生理学Ⅰ		1			1	30									30		
生理学Ⅱ		1			1		30								30		
生理学演習			1		1			30							30		
運動学Ⅰ		1			1	30									30		
運動学Ⅱ		1			1		30								30		
運動学Ⅲ		1			1		30								30		
計			8	4	0	12	150	150	60	0	0	0	0	0	0	360	
専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	内科学Ⅰ	1			1			15							15	
		内科学Ⅱ	1			1				30						30	
		整形外科Ⅰ	1			1			15							15	
		整形外科Ⅱ	1			1				30						30	
		神経内科学Ⅰ	1			1			15							15	
		神経内科学Ⅱ	1			1				30						30	
		小児科学	1			1				30						30	
		外科学	1			1				15						15	
		脳外科学	1			1				15						15	
		病理学	1			1			30							30	
		栄養学	1			1	15									15	
		人間発達学	1			1			30							30	
		環境感染症概論	1			1			15							15	
		精神医学Ⅰ	1			1	15									15	
		精神医学Ⅱ	1			1		30								30	
		老年期障害学	1			1				30						30	
		臨床心理学	1			1			30							30	
		救急救命法	1			1		30								30	
		計		18	0	0	18	30	60	150	180	0	0	0	0	0	420
		保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	1			1	15									15
リハビリテーション各論	1				1		30								30		
リハビリテーション医学	1				1				30						30		
リハビリテーション工学	1				1								15		15		
計		4	0	0	4	15	30	0	30	0	0	0	0	15	90		
基礎理学療法学	理学療法概論	1			1			30							30		
	理学療法研究法	1			1					30					30		
	理学療法研究法演習		1		1								30		30		
	運動療法学	1			1			30							30		
	運動療法演習		1		1			15							15		
	理学療法特論	1			1								30		30		
計		4	2	0	6	0	0	75	0	30	0	0	60	165			
理学療法管理学	理学療法管理学	2			2								30	30			
計		2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	30	30			

区分		授業科目	単位数				年間授業時数								合計
			講義	演習	実習	計	1年		2年		3年		4年		
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
理学療法評価学	基礎評価学Ⅰ	1			1		30								30
	基礎評価学Ⅱ	1			1			30							30
	基礎評価学演習Ⅰ		1		1		30								30
	基礎評価学演習Ⅱ		1		1			30							30
	臨床評価学	1			1					30					30
	臨床評価学演習		1		1					30					30
	動作分析学	1			1				30						30
	動作分析演習		1		1				30						30
計			4	4	0	8	0	60	60	60	60	0	0	0	240
理学療法専門分野 理学療法治療学	物理療法学	1			1				30						30
	物理療法演習		1		1				15						15
	運動系理学療法学Ⅰ	1			1					30					30
	運動系理学療法学Ⅱ	1			1						30				30
	運動系理学療法演習Ⅰ		1		1					30					30
	運動系理学療法演習Ⅱ		1		1						30				30
	神経系理学療法学Ⅰ	1			1					30					30
	神経系理学療法学Ⅱ	1			1						15				15
	神経系理学療法学Ⅲ	1			1						15				15
	神経系理学療法演習Ⅰ		1		1					30					30
	神経系理学療法演習Ⅱ		1		1						15				15
	神経系理学療法演習Ⅲ		1		1						15				15
	呼吸理学療法学	1			1					30					30
	循環理学療法学	1			1						30				30
	呼吸理学療法演習		1		1					15					15
	循環理学療法演習		1		1						15				15
	正常発達理学療法学	1			1					15					15
	小児系理学療法学	1			1						30				30
	小児系理学療法演習		1		1						30				30
	アスレティックリハビリテーションⅠ	1			1						30				30
	アスレティックリハビリテーションⅡ	1			1						30				30
	アスレティックリハビリテーションⅢ		1		1					15	15				30
	日常生活活動学	1			1					30					30
	日常生活活動演習		1		1					30					30
	義肢学	1			1						30				30
	装具学	1			1						30				30
	義肢・装具演習		1		1					15	15				30
	レクリエーション理論	1			1		30								30
	レクリエーション演習		1		1			30							30
	スポーツ・レクリエーション演習		1		1					20					20
計			16	14	0	30	0	30	30	65	360	285	0	0	770
地域理学療法学	地域理学療法概論	1			1			30							30
	地域理学療法各論	1			1				30						30
	地域理学療法特論	1			1								30		30
	生活環境論	1			1						20				20
計			4	0	0	4	0	0	30	30	0	20	0	30	110
臨床実習	見学実習(地域理学療法実習)			1	1				45						45
	評価実習			3	3						135				135
	総合臨床実習Ⅰ			16	16							720			720
	総合臨床実習Ⅱ														
計			0	0	20	20	0	0	0	45	0	135	720	0	900
選択分野	スポーツマネジメント学	1			1		15								15
	運動生理学	1			1			15							15
	トレーニング論	1			1			15							15
	トレーニング演習		1		1				30						30
	エクササイズ指導実習(現場インターンシップ)			1	1					45					45
計			3	1	1	5	0	15	30	30	45	0	0	0	120
単位数及び時間数の合計 (必須科目)			73	25	20	118	420	405	405	425	450	440	720	135	3400
							825		830		890		855		
単位数及び時間数の合計 (必須科目＋選択科目)			76	26	21	123	420	420	435	455	495	440	720	135	3520
							840		890		935		855		

区分		科目名	単位数				年間授業時数								合計	
			講義	演習	実習	計	1年		2年		3年		4年			
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基礎分野	科学的思考の基盤	倫理学	1			1	15								15	
		教育原理	1			1	15								15	
		心理学	1			1	30								30	
		情報科学	1			1	30								30	
		文章表現法	1			1	30								30	
	人間と生活	公衆衛生学	1			1		30							30	
		生物学	1			1	15								15	
		英語	1			1	15								15	
		医学英語	1			1		30							30	
		スポーツ科学	1			1		15							15	
	社会の理解	コミュニケーション論	1			1	30								30	
		コミュニケーション演習		1		1	15								15	
		社会福祉学	1			1	30								30	
		人と地域の交流	1			1				15					15	
	計			13	1	0	14	225	75	0	15	0	0	0	0	315
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅰ	1			1	30								30	
		解剖学Ⅱ	1			1	30								30	
		解剖学Ⅲ	1			1		30							30	
		解剖学演習Ⅰ		1		1	30								30	
		解剖学演習Ⅱ		1		1		30							30	
		生理学Ⅰ	1			1	30								30	
		生理学Ⅱ	1			1		30							30	
		生理学演習		1		1			30						30	
		運動学Ⅰ	1			1	30								30	
		運動学Ⅱ	1			1		30							30	
		運動学Ⅲ	1			1		30							30	
		運動学実習			1	1				30					30	
	計			8	3	1	12	150	150	30	30	0	0	0	0	360
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	内科学Ⅰ	1			1			15						15	
		内科学Ⅱ	1			1				30					30	
		整形外科Ⅰ	1			1			15						15	
		整形外科Ⅱ	1			1				30					30	
		神経内科学Ⅰ	1			1			15						15	
		神経内科学Ⅱ	1			1				30					30	
		小児科学	1			1				30					30	
		外科学	1			1				15					15	
		脳外科学	1			1				15					15	
		病理学	1			1			30						30	
		環境感染症概論	1			1			15						15	
		救急救命法	1			1		30							30	
		栄養学	1			1	15								15	
		人間発達学	1			1			30						30	
		老年期障害学	1			1				30					30	
		精神医学Ⅰ	1			1	15								15	
		精神医学Ⅱ	1			1		30							30	
		心理療法	1			1			30						30	
		臨床心理学	1			1			30						30	
	計			19	0	0	19	30	60	180	180	0	0	0	0	450
保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	1			1	15								15		
	リハビリテーション各論	1			1		30							30		
	リハビリテーション医学	1			1				30					30		
	リハビリテーション工学	1			1								15	15		
計			4	0	0	4	15	30	0	30	0	0	0	15	90	
基礎作業療法学	作業療法概論	1			1			30						30		
	基礎作業学Ⅰ	1			1			30						30		
	基礎作業学Ⅱ	1			1				30					30		
	基礎作業学実習Ⅰ			1	1			45						45		
	基礎作業学実習Ⅱ			1	1				45					45		
	作業療法研究法Ⅰ	1			1				15					15		
	作業療法研究法Ⅱ		1		1					15	15			30		
計			4	1	2	7	0	0	105	90	15	15	0	0	225	

区分		科目名	単位数				年間授業時数								合計
			講義	演習	実習	計	1年		2年		3年		4年		
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
	作業療法評価学	基礎評価学Ⅰ	1			1		30							30
		基礎評価学Ⅱ	1			1			30					30	
		作業療法評価学	1			1				30				30	
		作業療法評価演習Ⅰ		1		1					30			30	
		作業療法評価演習Ⅱ		1		1						30		30	
		作業療法評価演習Ⅲ		1		1						30		30	
		基礎評価演習Ⅰ		1		1		30						30	
		基礎評価演習Ⅱ		1		1			30					30	
	計		3	5	0	8	0	60	60	30	30	60	0	0	240
	作業治療学	身体障害作業療法学Ⅰ	1			1					30				30
		身体障害作業療法学Ⅱ	1			1					15	15			30
		身体障害作業療法学Ⅲ	1			1					15	15			30
		身体障害作業療法学Ⅳ	1			1						30			30
		身体障害作業療法学Ⅴ	1			1						15			15
		精神障害作業療法学Ⅰ	1			1					30				30
		精神障害作業療法学Ⅱ	1			1						30			30
		精神障害作業療法演習		1		1						30			30
		発達障害作業療法学	1			1					30				30
		発達障害作業療法演習		1		1						30			30
		老年期障害作業療法学	1			1					30				30
		老年期障害作業療法演習		1		1						30			30
		レクリエーション理論	1			1		30							30
		レクリエーション演習		1		1					30				30
		義肢・装具学	1			1						30			30
		日常生活活動学	1			1					30				30
		生活環境論	1			1				30					30
		日常生活活動演習		1		1					30				30
		生活環境論演習		1		1					30				30
		作業療法特論Ⅰ	1			1								30	30
	作業療法特論Ⅱ	1			1								30	30	
	計		15	6	0	21	0	30	0	30	270	225	0	60	615
	作業療法管理学	作業療法管理学Ⅰ	1			1								15	15
		作業療法管理学Ⅱ	1			1								15	15
	計		2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	30	30
	地域作業療法学	地域作業療法学Ⅰ	1			1					30				30
		地域作業療法学Ⅱ	1			1						15			15
		地域作業療法学Ⅲ	1			1								15	15
		地域作業療法学Ⅳ	1			1								15	15
	計		4	0	0	4	0	0	0	0	30	15	0	30	75
	臨床実習	見学実習				1	1			40					40
		地域作業療法実習				1	1				40				40
		評価実習				3	3					120			120
		総合臨床実習Ⅰ				10	10						400		400
		総合臨床実習Ⅱ				10	10						400		400
	計		0	0	25	25	0	0	40	0	40	120	800	0	1000
単位数及び時間数の合計			72	16	28	116	420	405	415	405	385	435	800	135	3400
							825		820		820		935		

別表Ⅳ

納付金一覧表

1.

	区 分	保健看護学科	理学療法学科	作業療法学科
	入学検定料	20,000円	20,000円	20,000円

2.

年 度	区 分	保健看護学科	理学療法学科	作業療法学科
平成21年度生 以 降	入学金	220,000円	220,000円	220,000円
平成20年度生 以 前	入学金	200,000円	200,000円	200,000円

3.

年 度	区 分	保健看護学科	理学療法学科	作業療法学科
平成13年度生 以 降	授業料 (年 間)	前期 240,000円	前期 325,000円	前期 325,000円
		後期 240,000円	後期 325,000円	後期 325,000円
		計 480,000円	計 650,000円	計 650,000円
	施設設備費 (年 間)	前期 105,000円	前期 150,000円	前期 150,000円
		後期 105,000円	後期 150,000円	後期 150,000円
		計 210,000円	計 300,000円	計 300,000円
	実験実習費 (年 間)	前期 95,000円	前期 125,000円	前期 125,000円
		後期 95,000円	後期 125,000円	後期 125,000円
		計 190,000円	計 250,000円	計 250,000円
	合 計	880,000円	1,200,000円	1,200,000円